

科目名	作品研究2								年度	2024
英語科目名	Arts research 2								学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	青野りえ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、グラフィックデザイナー			
【科目の目的】										
音楽、美術、写真、デザインなどから2つのアートジャンルを選び、それらについて学び、考察力を磨く。作品や物事に対して独自の視点で考え、批評するスキルを身につけ、2つのアートに関する発言力を向上させる。さまざまなアートジャンルに関する広範な知識を獲得し、自身の考えを形成し、センスを磨き、そのセンスを表現活動に応用することを目指す。平面作品の鑑賞ポイントを学ぶことで、作品への理解が深まり、自分の制作物にも応用できる技術を身につける。										
【科目の概要】										
音楽・美術・映像・デザインなどの幅広いジャンルのアートについての知識を身につけて、自分なりの考えを持って、センスを磨いて、そのセンスを自分の表現活動に生かしていくのが目標です。平面作品を鑑賞する際に見るべきポイントを学ぶことで、より作品への興味や理解が深まり、また自らのオリジナル作品に使用するジャケットやアーティスト写真、動画のサムネイルなど、制作に役立てることが出来ます										
【到達目標】										
A. 音楽・美術・写真・デザインの中から2種類のアートについて学び、考察力を習得する。 B. 作品や物事について自ら考え、批評する観点を身につける。 C. 2種類のアートについて発言力を習得する。										
【授業の注意点】										
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力					
到達目標 A	音楽・美術・写真・デザインの中から2種類のアートについて学び、考察力を習得する		音楽に関する考察力を習得する		到達目標Aについてさらなる努力が必要					
到達目標 B	作品や物事について自ら考え、批評する観点を身につける		作品や物事について自ら考える観点を身につける		到達目標Bについてさらなる努力が必要					
到達目標 C	2種類のアートについて発言力を習得する		2種類のアートについて感想を述べる ことができる		到達目標Cについてさらなる努力が必要					
【教科書】										
なし。参考資料等は、授業中に指示する。										
【参考資料】										
特になし										
【成績の評価方法・評価基準】										
評価基準はルーブリック評価に基づき、試験課題40%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点30%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		作品研究2			年度	2024
英語表記		Arts research 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アート概論	アート理解	1 アート定義	アートの意義理解	3	
			2 芸術意義	アート定義の考察		
			3 自己理解	多角的な視点獲得		
2	'60s総合	'60s解剖	1 '60年代音楽	'60年代音楽理解	3	
			2 '60年代デザイン	'60年代デザイン理解		
			3 '60年代ファッション	'60年代ファッション分析		
3	'70s総合	'70s探究	1 '70年代音楽	'70年代音楽理解	3	
			2 '70年代デザイン	'70年代デザイン理解		
			3 '70年代ファッション	'70年代ファッション分析		
4	'70s影響	70sの遺産	1 現代音楽影響	'70年代音楽影響把握	3	
			2 '70年代検証	現代への影響理解		
			3 音楽トレンド	音楽トレンド把握		
5	'80s総合	'80s研究	1 '80年代音楽	'80年代音楽理解	3	
			2 '80年代デザイン	'80年代デザイン理解		
			3 '80年代ファッション	'80年代ファッション分析		
6	'80s影響	'80s影響力	1 現代音楽影響	'80年代音楽影響把握	3	
			2 '80年代検証	現代への影響理解		
			3 音楽トレンド	音楽トレンド把握		
7	'90s総合	'90s分析	1 '90年代音楽	'90年代音楽理解	3	
			2 '90年代デザイン	'90年代デザイン理解		
			3 '90年代ファッション	'90年代ファッション分析		
8	'90s影響	'90sレガシー	1 現代音楽影響	'90年代音楽影響把握	3	
			2 '90年代検証	現代への影響理解		
			3 音楽トレンド	音楽トレンド把握		
9	2000s調査	2000s評価	1 2000年代音楽	2000年代音楽理解	3	
			2 2000年代デザイン	2000年代デザイン分析		
			3 2000年代ファッション	2000年代ファッション分析		
10	2010s調査	2010s検討	1 2010年代音楽	2010年代音楽理解	3	
			2 2010年代デザイン	2010年代デザイン分析		
			3 2010年代ファッション	2010年代ファッション分析		
11	影響解析	影響を分類できる	1 音楽影響解析	音楽影響の読解能力	3	
			2 ジャンル研究	ジャンル影響の理解		
			3 トrend比較	トレンドの比較分析		
12	写真実践	写真技術の理解	1 写真撮影	アーティスト写真技術	3	
			2 アーティスト写真	ジャケット撮影技術		
			3 ジャケット撮影	写真撮影の基本理解		
13	写真評価	写真評論技法	1 自分写真考察	写真の内容考察能力	3	
			2 ディスカッション	写真ディスカッション能力		
			3 作品分析	写真解析の技術習得		
14	自己洞察	自己探求ができる	1 作品自己分析	作品からの自己分析	3	
			2 アート解釈	アートを通じた自己理解		
			3 感想共有	芸術の意義再確認		
15	まとめ	試験対策	1 期末試験	期末試験対策能力	3	
			2 総復習	全内容の総復習		
			3 成果確認	学習内容の成果確認		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等